

# AET SIN-EVD/SCR-EVD/SIN-EVO/SCR-EVO

## オーディオケーブル 音質評価試聴比較 テスト

### 使用機器

#### D/A コンバーター CEC DA3N 定価 250,000 円 (税別)



デジタル入力は、同軸 / 光 ×2/XLR に加えミニ光プラグと USB (〜96kHz) を備え、さらに CEC 独自のスーパーリンクを装備します。出力は、RCA/XLR の固定出力と音量可変出力をそれぞれ 1 系統備えるなど、入出力がかなり豊富な仕様になっています。

#### アンプ Luxman L-305 定価 300,000 円 (税別)



真空管式プリメインアンプ SQ Series と同じデザインの天然突き板仕上げ木製ケース入りのトランジスターアンプです。出力は 50W (8Ω) と十分で、周波数を 3 通りに切り替えられる、高音 / 低音独立トーンコントロールと MM/MC に対応する本格的なフォノ入力回路を装備しています。

#### スピーカー Vienna Acoustics Beethoven Concert Grand 定価 638,000 円 (税別)



**各** モデルの点数は旧モデル SIN/EVO を 10 点として、その違いを感覚的に採点しています。比較テストに使用した SIN/EVD と SCR/EVD は新品からエイジングを兼ねて数時間演奏後の比較ですが、AET のケーブルは通常エイジングにもう少し時間が

かかることが多いため、エイジング不足分を少し割り引いて考えていただいた方が良いでしょう。テスト結果はあらゆる種類の音楽を聞きその印象を平均化するために、様々な音楽を CD から PC に取り込んだデーターを USB 経由で CEC DA3N に入力して聞

いて行いました。個人差やシステム (環境) による違いはあると思いますが、テストの結果は概ね信頼していただいても大丈夫だと思います。



### 音質インプレッション：滑らかで透明な音

#### SIN EVO 1.2m 定価 ¥ 180,000 (税別)

**逸品館特別価格 110,000 円 (税込)**

蕩々と流れる澄み切った清流のように、音楽を滑らかに美しく再現します。一度使い始めると、元に戻れない魔力を持つすごいケーブルです。

| 表現力 | 低音 | 中音 | 高音 | 広がり | 力強さ | バランス |
|-----|----|----|----|-----|-----|------|
| 10  | 10 | 10 | 10 | 10  | 10  | 10   |

テストしたSIN/EVO/1.2mは普段から3号館で使い、エイジングが十分に終了したこなれた個体です。高域が細やかで音場透明感が高く高品質を感じさせる音質ですが、同時に音が暖かく有機的です。AETの音は無機的で冷たいと言われることがあります。しかし、それはエイジング不足のためで、使い込めば使い込むほどどんどん有機的で暖かい音質へと変化します。

低音は力強く、中音は滑らかで厚みがあり、高音は澄み切って透明です。音場は大きく広がり、間接音成分や楽器の響きも豊かです。高級な素材を高度な技術で組み上げた良さが、情報量の豊富さに感じられます。圧倒的な情報量と表現力の細やかさが相まって、リスナーは知らない間に音楽の深い部分まで引き込まれていくように感じます。この独特な精緻で癖が少なく、緻密なサウンドは他メ

ーカーのケーブルには見られないAETならではの特徴です。

写真からわかるようにEVDとEVOはほとんど見かけで区別できませんが、ほんの少しだけEVDの方が太いように見えました。



## 音質インプレッション：浸透力のある音

**SIN EVD 1.2m**

**定価 ¥ 240,000 (税別)**

**逸品館特別価格 170,000 円 (税込)**

Evidence ほど「濃すぎない」ほどほどの色つやが、あらゆる音楽のストーリー性を大きく高めてくれます。音を超えたところにある、表現力の深淵を垣間見せてくれるすごいケーブルです。

| 表現力 | 低音 | 中音 | 高音 | 広がり | 力強さ | バランス |
|-----|----|----|----|-----|-----|------|
| 12  | 11 | 11 | 12 | 12  | 11  | 10   |

十分にエイジングが完了したEVOから変えた瞬間は、「失敗した」と思われるかも知れません。新品の通電直後は、中低域の厚みが足りず高域が細く感じるからです。しかし、数時間ならしてあげるとEVDは徐々に本領を発揮し始めます。

EVOとの比較では音の細やかさと滑らかさがさらに向上していることがわかります。また中低音の厚みも

増えています。EVOでも十分に豊富だった情報量さらに数割増える感じで、音の密度感と音場の広がりが増していることに気づきます。しかし、最も重要な改良点は「音楽表現力の深さに磨きが掛けられている」ことにあります。耳に聞こえる音はEVOと驚くほどの差はないのですが、楽器の音色の変化やリズムの強弱、あるいはボーカルの表現力がEVOよりも深まり、知らな

い間に心に中に音楽が浸透してきます。

このさりとした浸透力がEVDでさらに増し、しばらく聞いているとEVOには戻りたくないような気持ちが湧き上がってきます。

SIN/EVOからえて買い換える必要はないかも知れませんが、聞いてしまうと戻れない、そういう強い魅力を持つ音に仕上がっています。



## 音質インプレッション：パワフルで前に出る音

**SCR EVD 1.2m**

**定価 ¥ 96,000 (税別)**

**逸品館特別価格 70,000 円 (税込)**

SCR/EVO が EVD に進化しました。SCR の持ち味は、太い中低域の厚みから来るパワー感です。響きが美しく、間接音が大きく広がる SIN/EVD と違って SCR/EVD にはぐんぐん音を前に出すパワー感が備わっています。

| 表現力 | 低音 | 中音 | 高音 | 広がり | 力強さ | バランス |
|-----|----|----|----|-----|-----|------|
| 8   | 9  | 8  | 8  | 9   | 9   | 8    |

SIN/EVOからSCR/EVDに変えた瞬間、演奏者の年齢が少し下がった(演奏がわずかに稚拙になった)ように感じられました。

その原因はSINに比べると高域が繊細さ(デリケートさ)や透明感に欠けるからです。しかし、それはSCR/EVDが劣っているのではなく、SINの素晴らしい素晴らしさを褒めるべきです。

SCR/EVDの良さは、高域がSINほど強烈に伸びない事で実現する「大らかさ」と「明るさ」です。SINはあまりにも情報が多すぎ、また透明感も非常に高いため、録音の悪いソフトの「粗」を暴くことがあります。そのため時には、情報量の多さが「理に角を立ててしまう」ように感じられることがあります。

これに対してSCR/EVDの高域は、「粗」を暴くほど神

経質ではありません。中低音にしっかりと厚みがあり、体に音楽がぶつかってくるようなパワー感を感じます。

Classicなどデリケートさが重視される音楽にはSINがマッチしますが、POPSやROCKなどのデリケートさよりもノリの良さが重要になるソフトには、SCR/EVDのほうがマッチするようになりました。

## 総合評価

AET の EVO モデルは Evidence の発売をターニングポイントとして、EVD モデルへと変わっていくつあります。まずスピーカー / 電源ケーブルが EVD に進化した後、インターコネクトケーブルが EVD に進化しました。

電流が多く流れるスピーカーケーブルや電源ケーブルに比べると、電流がほとんど流れないインターコネクトケーブルの音質変化は、それほど強烈ではありません。しかし、音楽の表現力が深々と深まり、体の中に演奏に込められた情感が切々と流れ込んでくる変化

は、見かけ上の音の変化に感わされないインターコネクトケーブルの方が大きいように感じます。

純日本製品の「精密さ」を感じさせる AET のインター

コネクトケーブルは、数ある高級ケーブルの中で音楽表現の深さ緻密さで独自のポジションを確立していると思います。

